

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2023年度 分野連携アクティブ・ラーニング対話集会  
オンライン開催 開催要項

公益社団法人 私立大学情報教育協会

社会福祉学・英語教育学・法律学・社会学・教育学・統計学・情報教育・体育学・政治学・  
国際関係学・コミュニケーション関係学・経営学・経済学・会計学・心理学グループ  
分野連携アクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

オンライン開催

### 1. 開催趣旨

デジタル革命の真ただ中であって、持続可能な社会を創り出す担い手としての教育のあり方を探究する観点から、大学としてどのように向き合うことが期待されるのか議論が進められています。

それには、教育の DX 化を後戻りさせない中で、学生一人ひとりの能力を伸長する個別最適な授業と、対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた問題発見・課題解決型教育(PBL)の推進普及が急がれます。

そこで本対話集会では、大学教員を中心とした分野連携によるアクティブ・ラーニングの対話集会を通じて、ICT（情報通信技術）や生成 AI などを活用した効果的な学びの可能性や課題などについて、参加教員によるグループ討議を通じて意見交流を行い、問題意識の定着と改善に向けた行動変容の促進を探究することにしております。

### 2. プログラム

#### (1) 開催趣旨の説明

#### (2) ICT を活用したアクティブ・ラーニングの話題提供

- ※ 法学分野：オンラインでオープンに学び合う全国規模の法律討論会  
（「インターカレッジ民法討論会」）

京都産業大学法学部教授 高橋 英弘 氏

- ※ 社会学分野：主体的で深い学びに向けた Google フォームの活用  
ノートルダム清心女子大学文学部教授 森 泰三 氏

- ※ 環境情報学分野：オンデマンド授業を応答的に進める LMS の活用

大妻女子大学社会情報学部教授 木下 勇 氏

- ※ スポーツ科学分野：双方向ツールを活用した反転授業の効果と展望・課題

順天堂大学スポーツ健康科学部教授 鈴木 良雄 氏

- ※ 英語教育分野：ChatGPT で英語教育の在り方を探究

立命館大学生命科学部教授 山中 司 氏

#### (3) 意見交流（参加者をグループ分けして行います）

##### ① 学修者本位の授業実現

- \* LMS 等で理解度・成長度の把握や個別に学修指導している状況、反転授業導入等の状況を確認した上で、個別最適化の実現に向けた課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

##### ② 問題発見・課題解決型（PBL）授業の理解促進と推進・普及

- \* 対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた授業の実施状況、PBL の実施状況を確認した上で、ハイブリッド型授業、PBL の効果と課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

##### ③ 教員の意識啓発の促進

- \* 上記①、②の授業改善を組織的に進める意識啓発の対策として、FD 実施の状況を確認した上で、教員全員が参加する教学マネジメントの仕組みや FD 活動の改善について意見交流します。

##### ④ 生成 AI（ChatGPT など）の取扱い

- \* 授業の内外で生成 AI を体験させている、又はこれから体験させることを考えている状況を確認した上で、学生が社会で使いこなすことができるよう、大学としての対応・課題について意見交流します。

#### (4) 総括

3. 参加対象者：私立の大学・短期大学教員

4. 開催日時：令和 5 年 12 月 23 日（土）AM9：00～12：30

5. 会場：オンライン（Zoom 使用）による開催

6. 定員：70 名（先着順で受け付けます）

7. 参加費：無料

## 公益社団法人 私立大学情報教育協会

数学・物理学・化学・生物学・機械工学・経営工学・建築学・電気通信工学・土木工学・

被服学・美術デザイン学グループ

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

## オンライン開催

## 1. 開催趣旨

デジタル革命の真ただ中であって、持続可能な社会を創り出す担い手としての教育のあり方を探究する観点から、大学としてどのように向き合うことが期待されるのか議論が進められています。

それには、教育の DX 化を後戻りさせない中で、学生一人ひとりの能力を伸長する個別最適な授業と、対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた問題発見・課題解決型教育(PBL)の推進普及が急がれます。

そこで本対話集会では、大学教員を中心とした分野連携によるアクティブ・ラーニングの対話集会を通じて、ICT (情報通信技術) や生成 AI などを活用した効果的な学びの可能性や課題などについて、参加教員によるグループ討議を通じて意見交流を行い、問題意識の定着と改善に向けた行動変容の促進を探究することにしております。

## 2. プログラム

## (1) 開催趣旨の説明

## (2) ICT を活用したアクティブ・ラーニングの話題提供

- ※ 建築学分野：ICT ツールを用いて調布市と南部町における「空き家活用」の可能性を探る  
共立女子大学建築・デザイン学部教授 高橋 大輔 氏
- ※ 機械工学分野：学習分析ツールを活用した機械系専門科目の反転授業  
～予習活動の可視化とその効果～  
芝浦工業大学工学部教授 角田 和巳 氏
- ※ 物理学分野：LMS で行う確認テストと振り返りによる基礎知識の定着と自発的学修の継続  
北海道情報大学経営情報学部教授 穴田 有一 氏
- ※ 電気通信工学分野：リアルタイムオンライン反転授業の効果と課題  
山梨大学教育国際化推進機構大学教育センター副センター長 森澤 正之 氏
- ※ 情報学分野：大規模言語モデル・対話型 AI による  
プログラミング・データサイエンス演習の学修支援  
日本女子大学理学部教授 倉光 君郎 氏

## (3) 意見交流 (参加者をグループ分けして行います)

## ① 学修者本位の授業実現

- \* LMS 等で理解度・成長度の把握や個別に学修指導している状況、反転授業導入等の状況を確認した上で、個別最適化の実現に向けた課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

## ② 問題発見・課題解決型(PBL)授業の理解促進と推進・普及

- \* 対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた授業の実施状況、PBL の実施状況を確認した上で、ハイブリッド型授業、PBL の効果と課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

## ③ 教員の意識啓発の促進

- \* 上記①、②の授業改善を組織的に進める意識啓発の対策として、FD 実施の状況を確認した上で、教員全員が参加する教学マネジメントの仕組みや FD 活動の改善について意見交流します。

## ④ 生成 AI (ChatGPT など) の取扱い

- \* 授業の内外で生成 AI を体験させている、又はこれから体験させることを考えている状況を確認した上で、学生が社会で使いこなすことができるよう、大学としての対応・課題について意見交流します。

## (4) 総括

3. 参加対象者：私立の大学・短期大学教員

4. 開催日時：令和5年12月23日(土) PM1:30～5:00

5. 会場：オンライン (Zoom 使用) による開催とします。

6. 定員：50名 (先着順で受け付けます)

7. 参加費：無料

## 公益社団法人 私立大学情報教育協会

栄養学・薬学・医学・歯学・看護学・リハビリテーション学グループ

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

## オンライン開催

## 1. 開催趣旨

デジタル革命の真ただ中であって、持続可能な社会を創り出す担い手としての教育のあり方を探究する観点から、大学としてどのように向き合うことが期待されるのか議論が進められています。

それには、教育の DX 化を後戻りさせない中で、学生一人ひとりの能力を伸長する個別最適な授業と、対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた問題発見・課題解決型教育(PBL)の推進普及が急がれます。

そこで本対話集会では、大学教員を中心とした分野連携によるアクティブ・ラーニングの対話集会を通じて、ICT（情報通信技術）や生成 AI などを活用した効果的な学びの可能性や課題などについて、参加教員によるグループ討議を通じて意見交流を行い、問題意識の定着と改善に向けた行動変容の促進を探究することにしております。

## 2. プログラム

## (1) 開催趣旨の説明

## (2) ICT を活用したアクティブ・ラーニングの話題提供

- ※ 医学分野：ICT を用いた Team-Based Learning の実施方法  
東京女子医科大学医学部講師 茂泉（吉名） 佐和子 氏
- ※ 栄養学分野：管理栄養士国家試験合格率向上を目指した IR と TBL の活用  
東京農業大学応用生物科学部栄養科学科教授 福山 直人 氏
- ※ 医学分野：反転授業を取り入れた小児科シミュレーション実習の効果と  
課題・展望の効果  
近畿大学医学部関西空港クリニック所長・教授 岡田 満 氏
- ※ 歯学分野：ICT を用いた多職種連携の試み～歯科と栄養学科の大学間合同授業～  
東京歯科大学歯学部准教授 大久保 真衣 氏
- ※ 薬学分野：生成系 AI と共生した文章表現基盤教育の実践：  
次世代医療人育成を目指して  
北海道医療大学薬学部教授 二瓶 裕之 氏

## (3) 意見交流

## ① 学修者本位の授業実現

- \* LMS 等で理解度・成長度の把握や個別に学修指導している状況、反転授業導入等の状況を確認した上で、個別最適化の実現に向けた課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

## ② 問題発見・課題解決型（PBL）授業の理解促進と推進・普及

- \* 対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた授業の実施状況、PBL の実施状況を確認した上で、PBL の効果と課題を整理・共有し、対応について意見交流します。

## ③ 教員の意識啓発の促進

- \* 上記①、②の授業改善を組織的に進める意識啓発の対策として、FD 実施の状況を確認した上で、教員全員が参加する教学マネジメントの仕組みや FD 活動の改善について意見交流します。

## ④ 生成 AI（ChatGPT など）の取扱い

- \* 授業の内外で生成 AI を体験させている、又はこれから体験させることを考えている状況を確認した上で、学生が社会で使いこなすことができるよう、大学としての対応・課題について意見交流します。

## (4) 総括

**3. 参加対象者：**私立の大学・短期大学教員

**4. 開催日時：**令和 6 年 1 月 20 日（土）PM1:30～5:00

**5. 会場：**オンライン（Zoom 使用）による開催とします。

**6. 定員：**50 名（先着順で受け付けます）

**7. 参加費：**無料